

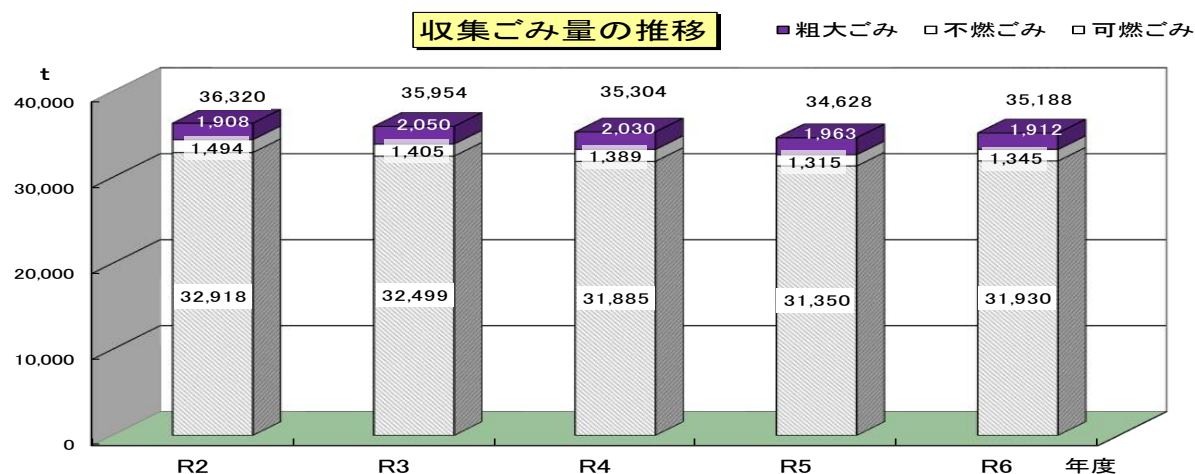
令和6年度ごみ量及び資源回収量について

👉 令和6年度における中央区の収集ごみ量及び資源回収量の報告を行う。

1-1 収集ごみ量

令和6年度における収集ごみ量は、35,187.57トンであった。これは令和5年度と比較して、量で約560トン、率にして約1.6%の増加である。内訳は下表のとおりである。

種 別	収 集 量 (t)		前 年 度 比	
	令和6年度	令和5年度	(t)	(%)
可 燃	31,930.29	31,349.90	580.39	1.9
不 燃	1,344.82	1,315.30	29.52	2.2
粗 大	1,912.46	1,962.69	△50.23	△2.6
合 計	35,187.57	34,627.89	559.68	1.6



注: グラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

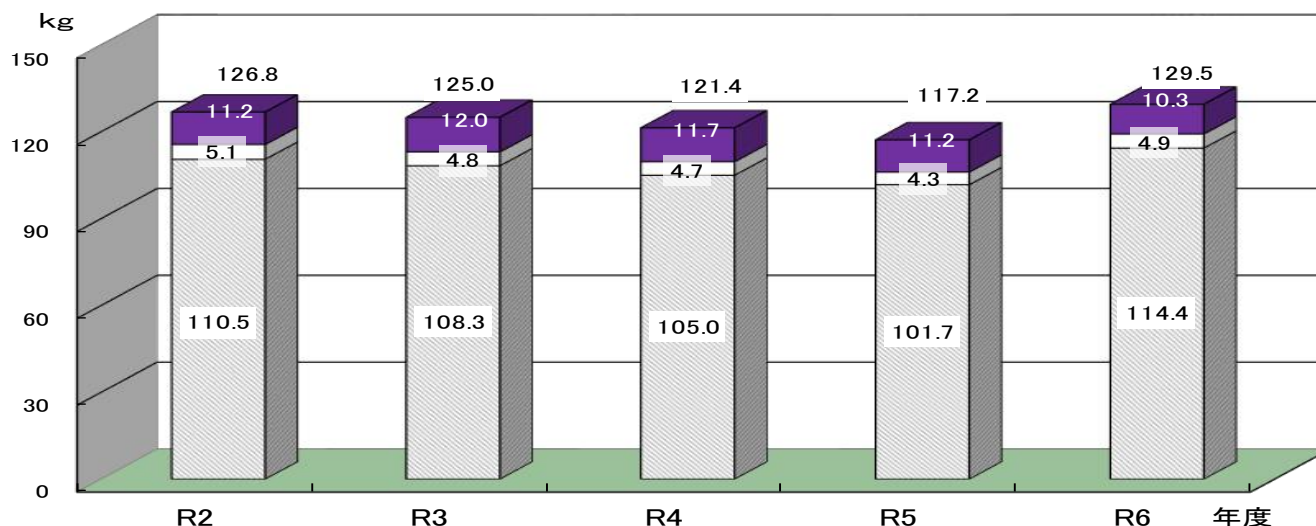
1-2 1人当たり収集ごみ量

令和6年度における1人当たり収集ごみ量は、129.49キログラムであった。これは令和5年度と比較して、量で約12キログラム、率にして約10.5%の増加である。内訳は下表のとおりである。

種 別	1人当たり収集量 (kg)		前 年 度 比	
	令和6年度	令和5年度	(kg)	(%)
可 燃	114.37	101.72	12.65	12.4
不 燃	4.87	4.34	0.53	12.2
粗 大	10.25	11.15	△0.90	△8.1
合 計	129.49	117.21	12.28	10.5

1人当たり収集ごみ量の推移

■粗大ごみ □不燃ごみ ▨可燃ごみ



注1: グラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

注2: 1人当たり収集量は、各年10月1日現在の人口を用いて計算している。

注3: 1人当たり収集量は、区収集のうち家庭系に按分されたごみ量を用いて計算している。

令和2～5年度分は、令和元年度中央区ごみ排出実態調査による家庭ごみ比率(可燃:57.1%、不燃:58.1%)を用いている。

令和6年度分は、令和6年度中央区ごみ排出実態調査による家庭ごみ比率(可燃:66.8%、不燃:67.6%)を用いている。

2 資源回収量

令和 6 年度における資源回収量は、約14,647トンであった。令和 5 年度と比較して、量で約297トン、率にして約2.1%の増加である。ステーション(集積所)回収・拠点回収は約4.6%増加し、集団回収は約2.8%減少した。

種 別		回 収 量 (t)		前 年 度 比	
		令和 6 年度	令和 5 年度	(t)	(%)
ステーション (集積所) 回収・拠点回収		9,025	8,628	397	4.6
(内訳)	ステーション (集積所) 回収	8,930	8,535	395	4.6
	拠 点 回 収	95	93	2	2.2
ピックアップ回収※		1,764	1,751	13	0.7
集 団 回 収		3,858	3,971	△113	△2.8
合 計		14,647	14,350	297	2.1

※不燃ごみ及び粗大ごみの資源化量の合計量

《行政による回収の品目別回収量》

種 別	回 収 量 (t)		前 年 度 比	
	令和 6 年度	令和 5 年度	(t)	(%)
紙 類	3,424	3,317	107	3.2
布 類	63	63	0	0.0
缶	331	333	△2	△0.6
び ん	3,481	3,310	171	5.2
プラスチック類・その他	1,726	1,591	135	8.5
不燃ごみ (ピックアップ)	1,261	1,247	14	1.1
粗大ごみ (ピックアップ)	503	504	△1	△0.2
合 計	10,789	10,365	424	4.1

注:「プラスチック類・その他」には、廃食用油、蛍光管、電池類、小型家電等の品目が含まれる。

